

NEWS

病院ニュース

2008年1月 第12号

主な内容

- 1面 ●病院ボランティア大活躍
●安全で質の高い医療を提供します(病院長 河野陽一)
- 2面 ●<看護部から>
やさしい心と専門技術を身につけた<看護>のスペシャリスト育成
- 3面 ●<コラム>いのはな
●<薬学部から>院外処方せんQ & A
●看護師・助産師募集!
●ミニニュース
- 4面 ●<フリートーク>築かれた実績を基礎として、最先端医療に挑戦!(整形外科学教授 高橋和久)
●<トピックス>スギ花粉症は今や国民病



千葉大学医学部附属病院

〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEL 043-222-7171 (代表)

http://www.ho.chiba-u.ac.jp/

〈院内の案内〉から〈患者さんの介助〉〈院内図書貸出しの運営〉など 病院ボランティア大活躍!

闘病中の患者さんが、少しでも気持ちよく入院生活が送れるよう、また通院患者さんがスムーズに診察を受けられるよう、千葉大学病院では、大勢のボランティアが活躍しています。

その活動は、〈院内の案内〉車いす利用者の介助から〈リハビリ室〉への送り迎え、また〈院内図書貸出し〉

運営や〈院内ギャラリー〉への作品展示など、まさに多彩で、それぞれ持ち前の技能を生かし、好きなこと、趣味を生かして、快適な病院づくりを陰で支えているのです。

「何よりも一人に感謝される活動に、やりがいを感じる」というのがボランティア共通の思い。あなたも、千葉大学のボランティアに参加して

みませんか?

現在、千葉大学病院で行われているボランティア活動は、次のようなものがあります。

①外来患者さんのお世話

月曜日から金曜日の午前8時30分〜正午までの間、1階の「総合案内」付近で、受診手続きの介助や車いす介助などを行います。

②なのはな文庫の運営

毎週土曜日の午後2時〜4時までの間、

室も多く、迷っている患者さんをよく見かけます。案内は私に任せてください!皆様から元気をもらっています。

退屈な入院生活に善意の1万冊

●図書ボランティア
川井 久美子さん
田鎖 喜代美さん
早崎 昭子さん
毎週土曜日の午後2時から4時まで、3階エレベーターホールで貸出しをしています。約1万冊の蔵書は、患者さんや職員からの寄贈。平日は、返却本の整理、消毒をしています。

社会参加の楽しさがある

●渡辺 加代子さん

病院事務の仕事やボランティア経験があるので、違和感もなく社会参加の楽しさを味わっています。患者さんとの会話も楽しく、体調や気持ちを考えながら接しています。

ピッタリのボランティア

●高嶋 和子さん

「帰りがけに「先ほどはありがとうございました」の声に、お役に立ったかなーと嬉しい気持ちになります。知人からも「あなたにピッタリのボランティアだわ」といわれます。

院長の言葉を胸にー

●佐藤 勝さん

千葉大学病院は、妻が2年間お世話になった思い出の場所なんです。「病院は、受付の印象でイメージが変わります。ボランティアの役割は、医師や看護師等と同列です」という院長先生のこの言葉を胸に活動しております。

病棟の手伝いが欲しい

●野村 誠一朗さん

長い大学病院勤務で院内にはくわしいので、月水金の週3回、外来受付の介助と脳神経外科病棟で車いすの患者さんの搬送をしています。午前の病棟を手伝ってくれる人が欲しいですね。

馴染みの患者さんも増えた

●安藤 善偉さん

月2回ぐらい来る患者さんや馴染みの患者さんも多く、しばらく見ないと心配になります。顔を見るとホッと、張り合いを感じます。受付ホールの混雑もなくなりました。

役立てることがうれしい

●津村 弘美さん

毎週金曜日、1階エレベーターホールが持ち場です。検査

〈先輩ボランティアからメッセージ〉



佐藤 勝さん
野村 誠一朗さん
安藤 善偉さん
津村 弘美さん
川井 久美子さん
田鎖 喜代美さん
早崎 昭子さん
渡辺 加代子さん
高嶋 和子さん

〈新年を迎えて〉

安全で質の高い医療を提供します

病院長 河野陽一



皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も、千葉大学医学部附属病院は新たな一歩を踏み出しますが、新年にあたり当病院のこれからの方向と考え方について述べさせていただきます。

皆様もお気付きのように、現在使われている病棟の東側に新病棟が建設され、この5月に開院の予定です。その後、今使われている病棟は、小児科、小児外科、産婦人科が入っている母子棟も含めて、3年をかけて大幅な内部の改修工事に入ります。

このような病棟の新築、改修により、病室のスペースは広くなります。また、看護師の増員を進めており、各病棟の看護師を増やすことで看護体制を強化し、新たな病棟システムで患者さんの療養環境を全体的に見直していきます。

療養環境のみではなく、大学病院は最高レベルの医療を提供しなくてはなりません。昨年千葉大学医学部は、高度の専門性を持った「がん治療」に関する医療者の養成機関として国から選ばれました。がんの診療体制をより充実させることは千葉大学医学部附属病院の重点項目の一つに位置づけられており、昨年十一月には臨床腫瘍部という治療部門を立ち上げ、新たながん治療を担う体制を整えました。

このほかにも再生医療、移植医療、免疫医療など、多くの先端医療の開発も行っており、日本のそして地域の中心となる特定機能病院として、医療への貢献を進めてまいります。

今年も、社会から求められている安全で質の高い最良の医療を提供し、皆様とともに歩む病院をめざします。ご支援のほどよろしくお願いたします。

3階エレベーターホールで図書の貸出しをしています。

③入院患者さんのお世話
7階東病棟(脳外科・放射線科)で、リハビリ室への車いすでの搬送や散歩の付き添い、話し相手をします。

④院内のご案内
一階エレベーターホールには、「案内」のノボリを立てた車イスに乗ったボランティアが行きたい場所までご案内します。

⑤小児科病棟での読み聞かせ
朗読奉仕の会「せせらぎ」のメンバーが、2カ月に1回絵本の読み聞かせを闘病中の子供たちや保護者を対象に行っています。

⑥さつき保育園での紙芝居と昔話
地域で紙芝居と民話の語りを通じて活動している方々が、月2回大学職員のために設置されている「さつき保育園」の園児たちに、紙芝居や昔話を語る活動をしています。



⑦メイクアップ相談

月1回メイクアップの相談を受け付けています。病気のため、キズやシミ、シワなどができてしまい、気にされている方を対象に行っています。

⑧ギャラリーでの作品展

病院1階リハビリテーション部から母子棟に向かう廊下にギャラリーがあります。このギャラリーは、あるボランティアさんが、院内で患者さんの散歩を介助した際「ここをギャラリーにして、患者さんが気軽に見て楽しめるものがあれば」と思っていたのが発端で設置されました。

⑨外来ホールでの演奏

外来待合ホールでのピアノ演奏・フルート演奏などを開催しています。今回ご紹介したボランティア活動の中で現在①②③④⑤⑥⑦⑧⑨を募集しています。参加希望、その他お問い合わせ先は

千葉大学医学部附属病院
地域医療連携部

TEL 043-222-7171

内線 64007 / 64009

受付時間は、月～金
午前9時30分～午後3時

やさしい心と専門技術を身につけた

〈看護〉のスペシャリスト育成

千葉大学病院の看護師教育システム

心のこもった看護と先進医療を支える高度な看護技術を、責任をもって提供すること——それが千葉大学病院看護師の使命です。そうした優れた看護師を育成するため、新規採用および中途採用の看護師向けに、次のような教育・研修プログラムを用意しています。

この教育・研修の拠点が「看護技術研修室」で、いわば病院の中の学校。また「教育研修室」には、ベテランの教育担当副看護部長を

室長に、6名の教育専任スタッフが待機し、新人教育に当たっています。

独自の院内研修でステップアップ

■新人教育

千葉大学病院の新人看護師養成の特色は、クリニカルラダー（看護師の臨床実践に必要な能力）の段

階に沿って独自の院内研修を3年間にわたって行いながら仕事をこなしていくため、最短のスピードで最大の看護技術が身につくシステムです。

まず採用された1年目は、大病院職員としての心構えを学び、職場環境に適応し、よき看護スタッフとしての役割を果たせるようにします。同時に、大病院における看護師に必要な基礎的な看護技術を習得し、看護過程に基づいた看護実践ができる力を養います。

2年目は、看護過程に基づいた看護実践を、チームの一員としての自覚と自信を持って行動できるようにします。たとえば、それぞれの患者さんの特徴をふまえて、確かなアセスメント能力を発揮する実力を身につけます。

3年目になると、看護過程に基づいた看護実践はもとより、自己管理を含め、職業的自立が可能な実力を備えた看護職へ成長します。

また、看護師を軸に広がる患者さんや家族、スタッフ同士のコミュニケーションが医師とのすき間を埋めています。主治医には相談しにくいのが、看護師なら相談できる——という患者さんも多く、自分の治療だけでなく家族や職場復帰などの悩み、再発などの心理面での不安を持ってきます。看護師はその苦しみに寄り添い、患者さんや家族の代弁者にもなります。高度な看護技術と共に患者さんの心のサポート役を兼ね備えた看護師の育成をしています。



教育専任スタッフの指導を受ける新人看護師〈看護技術研修室〉

経歴、能力を考慮して配属

■中途採用者教育



即戦力に近い人材確保の一貫として、中途採用にも積極的に取り組み、その教育にも力を注いでいます。

は、過度な負担にならないよう業務内容を配慮し、定時に帰宅できるようにするほか、部署の判断や本人の希望によって、各種の教育、研修に参加することができま

また、中途採用者の経歴や実践能力を考慮し、看護の質向上のために技術研修を行っています。

採用約一週間後に面接を行い、職場へ適応できるように研修を計画しています。

環境や研修制度も充実

●伊藤 香代子

(7階東病棟)

中途採用者



学生時代、実習先病院の脳神経外科で受け持った患者さんが後遺症もなく元気

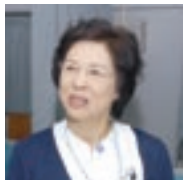
に退院、その喜びが強く印象に残っています。民間病院の循環器内科に勤務後、大病院の脳神経外科で専門的な看護を勉強したくて希望。最新の治療や看護方法に接することによって、自身のスキルアップが図れる環境や、研修制度も充実していることも大きな魅力です。

〔教育専任スタッフからメッセージ〕

どこでも活躍できる人材に

●門川 由紀江

(副看護部長・教育研修室長)



看護部が設置している「看護技術研修室」では、マンツーマンで看護技術指導をしており、その環境や設備は、先進的な看護の研修にふさわしいものに整備してあります。ここで学んだ看護師は、高い志を身につけ、どこでも活躍できる人材に育っていきます。

看護師は、患者さんや家族の代弁者であり、医師とのパイプ役も兼ねていることを忘れずに、仕事に励んでいただきたいと思っています。

キャリアアップをサポート

●菅原 聡美 (看護師長)

クリニカルラダー段階に沿った独自の院内研修(千葉大方式)で、新人教育や2年目以降の継続教育プログラムを研修委員会とともに企画・実施しています。プロフェッショナルな看護師として活躍できるシステム



で、キャリアアップをサポートする内容にもなっています。また、医療の高度化に伴い看護師のストレスやメンタル面でのサポートもしています。

がん患者のセルフケアも担当

●奥 朋子

(看護師長・がん看護専門看護師)



4月採用の新人看護師の研修のほか、看護学生のインターンシッププログラムの企画を担当しています。また、がん看護専門看護師として、外来や病棟のがん患者さんのセルフケアや心理問題の相談、看護師への助言、指導もしています。

中途採用者には即戦力の期待

●大野 朋加

(副看護部長・乳がん看護認定看護師)



中途採用者の研修を担当していますが、この中途採用の場合、その職歴や経験、能力を的確に見きわめるのが難しい。でも、何らかの技能を持つ

ているのは事実で、即戦力として大いに期待しています。

〈誕生の喜び〉が味わえるよう

●大堀 里美 (副看護師長)

周産期母性科・婦人科・救急部を担当しています。リスクのある妊婦さんが多く、妊娠中から産後まで継続的に関われるシステムを採用。誕生の喜びを感じられるような指導をサポートしています。



また、時代の要請に応えながら、スタッフのモチベーションを高めていけるよう、助産師向けの専門的な研修会を企画したり、ヨガの資格を生かして、スタッフのストレス解消にも努めています。

多忙なプリセプターを支援

●荒屋敷 亮子 (副看護師長)

小児病棟と手術室、精神神経科病棟を担当しています。プリセプターが困らずに新人指導ができるよう支援したいと思い、研修の企画や実施をしています。



mini news

全てのエレベーターが 車椅子対応規格など性能アップ!

〈エレベーター改修工事〉

本院のエレベーターは設置後30年を経過し、老朽化と運行効率が低いことから、病棟の8基および母子センターの2基を更新することになり、平成19年7月から20年3月までの予定で工事を行っています。



病棟は8基を2基ずつ4期に分け、母子センターは2基を1基ずつ施工し、業務への影響を最小限におさえています。

新しいエレベーターは、コンピューター制御による運行効率改善、車椅子対応規格、速度アップ、非常時自動着床機能付加(地震・停電時に最寄り階に停止し開扉する)など性能改善が図られています。しばらくの間、ご不便をおかけしますがご理解ご協力をお願いします。

病名、治療説明を もっと知りたい方へ

〈学習・情報コーナー〉



患者さん・ご家族の皆様方から「病名告知や治療説明などを受けたあと、疾患や治療について説明内容をより深く理解し知識を得たい」という要望があり、平成19年5月に玄

関ホール棟2階に学習・情報コーナーを開設しました。

同コーナーには、医療専門書(基礎・全般、成人、小児・母性)、医療一般向け(成人、小児・母性、その他)薬剤、検査、栄養関係の図書約400冊とパソコン2台が備え付けられていますので、待合時間などに医学・医療情報の収集にご活用ください。

ご利用時間は、平日AM9:00～PM4:30です。

ひととき、音の世界に酔う 患者さんたち

〈クリスマス・コンサート〉

昨年12月20日の夕方、千葉大学病院外来待合ホールで一足早い「クリスマス・コンサート」が開かれました。サンタの扮装をしたオーケストラのメンバーが奏でる名曲の数々に、楽しみにしていた患者さんは、闘病生活を忘れてウツトリと聞き入っていました。

この日ボランティア演奏をしていただいたのは、千葉大学「のほな音楽部(黒川友哉部長、メンバー60名)の「のほなオーケストラ」の皆さん。集まった約120名の患者さんや病院関係者を前に「クリスマスメドレー」「きよしこの夜」でムードを盛り上げ、さらに「オペラ座の怪人メドレー」や「となりのトトロ」などおなじみの7曲を演奏。約1時間余にわたる素敵なひとときの幕を閉じました。

演奏中、静かに目を閉じて聴き入っていた患者さんたちからは、演奏終了後「病院でナマの演奏が聴けて、ぜいたくな気分が味わえた」「心が洗われた」などの感動や感謝のことがメンバーに送られ、黒川部長からは「私たちの方こそパワーをいただきました」と充実感に満ちた言葉で応えていました。



いの はな

あきらめずに、ぜひ受診してみてください

〈神経難病の最新医療〉

神経難病には、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、重症筋無力症など多くの疾患があります。

従来、これらの疾患は原因が不明で、治療法がないといわれてきましたが、近年の医学の進歩はすばらしく、次々と病態が明らかになるとともに、新しい治療法が登場しており、患者さんの予後はずいぶん改善してきています。

もちろん、まだ難治性といわなければならない疾患も少なくありませんが、今や重症筋無力症は「重症」というレッテルをはずしても

いいかと思えますし、パーキンソン病の多くは、「難病」の仲間に入れなくてもいいようにさえ思います。ところが、自分が神経難病と診断されると、もう治療法がない大変な病気とあきらめ、落ち込む人は少なくないようです。

私どもの神経内科では、それぞれの病気ごとに研究グループをつくって診療に当たっておりますし、必要に応じてリハビリテーション部や脳神経外科、地域難病支援センターとも連携をとっています。最新の医療を、ぜひお受けいただきたいと思います。

(神経内科長・服部孝道)

〈薬剤部から〉

院外処方せんQ&A

～みなさんからよく聞かれる質問にお答えいたします!～

処方せんの期限

Q 処方せんは、いつまでに薬局へ持って行けばいいの?

A 処方せんには医師が発行してから、「その日を含めて4日間」という期限があります。当日以外でも4日以内であれば、おくすりを受け取ることができます。

期限が切れてしまった場合は再受診となり、処方せんだけの再発行はできません。なお、4日間には土曜・日曜・祝日も含まれますので、特に休前日の受診の際にはご注意ください。

くすりの受取り方法

Q 処方せんを、どこの薬局に持って行けばいいのかわからない?

A 保険薬局と掲げている薬局であれば、おくすりは全国各地でも受取り可能です。

処方せんの確認

Q 薬局でおくすりを受け取ったら、医師から指示された飲み方と薬局で聞いた飲み方が違った。

A 医師から処方せんを受け取られた際に、医師と一緒に処方せんの内容を確認しましょう。発行された場で確認することが大切です。



処方せんを失くしたとき

Q 処方せんを紛失してしまった、どうしたらいいの?

A もう一度、落ち着いて探してみましよう。それでも見つからない場合は、再度来院して受診して下さい。

薬局での待ち時間短縮方法

Q おくすりを取りに行った薬局で、長時間待たされて困っている。

A 千葉大学病院1Fのエスカレーター脇に、千葉市薬剤師会が運営するFAXカウンターがあります。事前に薬局へ処方せん内容を知らせておけば、薬局での待ち時間を短縮することができます。ただし、おくすりを受け取る際には実際の処方せんが必要です。

*そのほかご不明な点は、医師・薬剤師にお気軽にご相談ください。

看護師・助産師募集!

常勤職員・非常勤職員(パート)

■資格/看護師・助産師免許を取得されている方
または新卒者で免許取得見込みのある方

■待遇/当院規定により優遇します。

■応募/電話連絡の上履歴書・看護師等の免許証(新卒の方は成績証明書)を郵送下さい。勤務開始日等相談に応じます。

応募またはお問い合わせ先
☎ 043-222-7171

総務課人事係 (内線6020)
看護部副看護部長室(内線6519)

千葉大学医学部附属病院

<http://www.ho.chiba-u.ac.jp/recruit.html>

応募
随時受付

Heart,
心のごもった看護と
Skill

先進医療を支える看護技術を

Responsibility

看護職として責任を持って提供することです

私たちが
目指すもの



F R E E TALK (フリートーク)



〈新任教授紹介〉 千葉大学大学院 医学研究院 整形外科教授 高橋 和久

築かれた実績を基礎として、最先端医療に挑戦！

時代の要請にどう応えるか？

わが国の医療において、医療の質の向上と効率化は大きな社会的要請であり、大学病院における整形外科では、あらゆる疾患についても最先端の研究・診療が求められています。

幸いわが千葉大学医学部の整形外科には、長年にわたって築かれてきた手術手技があり、脊椎疾患、関節疾患を問わず多くの手術症例の記録が蓄積されています。これらを基礎として、その上に引き続き新しい手術法を開発し、積み重ねていくことが大切と考えております。

高度な技術と幅広い見識を持った医師、研究者を育成するには、絶好の環境に恵まれているわけで、そこで一人でも多くの学生諸君が意欲を燃やして医療を学び、身につけて社会に巣立って欲しいと切に願っております。

自分の将来を託すべき学問は――

私は、子供の頃エンジニアに憧れ、造船技術者になろうと考えていたのですが、大学進学の時を迎えた昭和43年頃から、学園紛争が激しくなり、この大学でも講義や研究が行われない状態となりました。そのような中で出した結論は「進学は、自分の将来を託すにふさわしい職業を明確に方向づける学部へ」ということでした。

このことを高校の物理の教員をしていた叔父に相談したところ「医者道をして」と勧められ、私も人間について

〈信条・趣味〉
・信条＝「和して同ぜず」(各々が自立性を保ちながら、全体としては調和していること。多様性を包含した統一性が理想)
・趣味＝学生時代は、個人スポーツで、日本古来の伝統を持つ弓道に夢中になった。現在は世界の切手収集。

もっと知りたいという気持ちでいたものですから医学を志すことにし、松戸市の自宅から通える千葉大医学部への進学を目指

したので。

昭和51年に卒業し、当時「整形外科学教室を主宰されていた井上駿一教授に師事いたしました。当時、井上教授は「脊椎外科」をメインテーマに、難治性の脊柱変形や各種の脊椎疾患に対する手術治療に果敢に挑戦をされておりました。

こうしたなか井上教授は、昭和62年4月新潟で開催された「第60回日本整形外科学会学術集会」で、ライブワークでも「小児脊柱変形の治療」の教育研修講演を担当されました。その準備中、突然、井上教授がスライドに「脊椎外科は、一発勝負」ということばを使っていたことが出されたのです。

「脊椎外科は一発勝負」の真意

その真意は「脊椎外科の再手術は困難であり、最初から綿密な手術計画を立て、一回で手術の目的を達成しなければならない」ということでした。しかし私たち医局員は「権威ある学会の講演で使うことばとしては奇異に聞こえるのでは？」との心配から、説得を重ねて「一発勝負」のことばはやめていただいたのです。

井上教授が亡くなられてから約20年。この間の医学の進歩はめざましく、脊椎外科においても、20年前には長期の体幹ギプス固定を必要とした疾患も、2日後には歩行できるようになりました。また、脊椎内視鏡手術の導入により、一層の最小侵襲手術が実現しています。

それでもなお、困難な再手術をせざるを得ないケースも出てきます。そのような時、私の胸には「脊椎外科は一発勝負」といつた井上教授のことばがよみがえってきます。常にベストの医療を心がけること―私は、井上教授の「一発勝負」のことばが、貴重な遺言のように思われ、その度に今後も研鑽を積んでいかなければ」と決意を新たにします。



トピックス

スギ花粉症は今や国民病 症状が出たら早めの対応を

スギ花粉症は、日本人の6人に1人が発症しているともいわれ、まさに国民病の1つになっています。しかも、まだ毎年患者が増え続けています。

スギ花粉は、2月初め頃から飛び始め、3カ月くらい続きます。花粉の飛散量は、年によって大きく違っていますが、症状の強さはこの花粉の量に影響されます。さて、今年はどうなるでしょうか？昨年の夏は、天気が良く日照時間が長かったため花粉の生育が良くなり、今年の花の量は例年を上回ると予想されています。

くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみなど花粉症特有の症状が出始めたり、ニュースや新聞などで花粉飛散の開始宣言が出たら、花粉症の初期治療を始める時期です。医療機関で受診するとともに、マスクやメガネの着用など、自分でできる予防対策を行いましょ。特に例年症状が強く出ている方は、早めの対応が肝心です。早めの対応が花粉シーズン全体を通して症状を軽くさせることにつながります。

(耳鼻咽喉・頭頸部外科 櫻井 大樹)

あとがき

先日ある会議で、都内の某私立大学病院を訪問しました。入り口すぐ正面に有名なコーヒーショップ、右手におしゃれな花屋さん、その奥に受付があるという作りでした。「さすが都心一流病院のしゃれた心遣い」と感心しました。

千葉大学病院の入り口には、受付でお困りの方に声をかけ、親切に手助けしてくれるスタッフがいます。ボランティアの皆さんです。受付以外にも、患者さんのアメニティーを高めるため、たくさんのボランティアの方々が活躍されています。本号では、こうしたボランティアの活躍を紹介させていただきました。

米国で病院ボランティアになるためには、何か月もの研修会に参加し、試験に合格する必要があることを知り、さすがボランティアのメッカだと感心したことがあります。日本では、今後さまざまな分野でボランティア活動が広がっていくと思いますが、千葉大学病院のボランティアの活動は患者さんにとってありがたい存在であることは間違いなさそうです。(呼吸器内科・臨床腫瘍部 瀧口 裕一)

多鼻 3 むかひ・昔

七天王塚と「七」②

千葉大学医学部の敷地外にある七天王塚は、千葉氏が北極星もしくは北斗七星を神格化した妙見さまを信仰したことから、北斗七星を表しているといわれています。しかしこれらの七つの塚は、北斗七星の柄杓のような形に配置されているわけではありません。

良文勢が主従七騎になつてしまつた時に、川上から童子が現れ、矢を拾つて味方に与えたり、敵に射かけたりしました。すると七騎の鬨が数万騎のように聞こえ、国香勢は退散してしまいました。



医学部構内外に7カ所ある七天王塚(千葉市指定文化財)

よつて、戦いに勝つことができましたが、「七」という数が繰り返して出てきます。「ラッキーセブン」という言葉が現代ではよく使われますが、妙見信仰では「七」が聖数なのです。(妙見信仰研究者・宮原さつき)